

**（滋賀県甲賀市）地域共生型官民連携事業手法による広域ネットワーク  
維持に資する次世代型地域活性化拠点整備**

【分野】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / **その他**（ ）

【手法】 **コンセッション** / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

物流関係者、地域住民、行政や事業者それぞれにメリットがあり且つ、地域活性化に寄与するまちづくり型の広域物流拠点モデル事業を展開する

①解決したい課題

- ・物流の2024年問題として、広域物流ネットワークにおける中継拠点整備は喫緊の課題であるが、既存の中継拠点では地元地域・事業者への貢献がない。
- ・事業用地における市街化調整区域内の土地利用転換の条件緩和。
- ・人口10万人程度、市内に高速道路のIC等が設置されており、主に中山間部の都市を想定。
- ・R6：調査検討、R7：事業主体の選定、施設設計、R8～9：施設整備と運営管理

②課題解決の方向性

- ・民間による中継拠点施設に併設する市の地域活性化施設を建築する。
- ・地域活性化施設内にレストランや入浴施設を併設。地元生產品（主に農産物）を利用したメニューなどの提供を行う。  
また、広域物流中継拠点のトラックドライバーに限らず、地元住民も利用できることで持続可能を高める。
- ・今後の需要に合わせ、ダブル連結トラック用の巨大駐車場用地の併設も視野に入れる。

【求める提案やアイデア】

- ・中継拠点施設と地域活性化施設の運用方法の検討方法。
- ・地域との共創による事業イメージの検討方法。
- ・物流事業者との共創(担い手の発掘) や事業イメージの検討方法。
- ・事業スキームの構築方法

③課題解決のイメージ・効果

- ・物流施設による地元地域の活性化(稼ぐ、地元産業の拡大、税収の増加)

その他

- ・地域活性化に寄与するまちづくり型の広域物流拠点モデルとなるもの考える。